

富士のふもとに、「三来拠点」

3つの未来がはじまるまち-おやま

～ 湯船原・小山PA周辺・足柄SA周辺 ～

富士小山わさび平・南藤曲・駿河小山駅周辺・須走周辺・リバーガーデンタウンおやま



小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組
静岡県駿東郡小山町

2019年12月

1. 小山町の紹介

- 小山町の紹介 2
- 新東名の開通～交通ネットワークの充実～ 4
- まち・ひと・しごと創生総合戦略・小山町人口ビジョン 5
- 静岡県“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組『フロンティア推進区域』 6
- 小山町国土強靱化への取組 7
- バスで巡る新しい小山町～F・B・T・O(ファンタスティック・バス・ツアー・おやま) 8

2. 小山町将来土地利用構想

- 湯船原地区【再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業】 13
- 小山PA周辺地区【小山パーキングエリア・スマートインターを活用した地域産業集積事業】 27
- 足柄SA周辺地区【足柄サービスエリア周辺を広域都市交流拠点とした土地利用事業】 30
- 南藤曲地区【家・庭一体の住まいづくり事業】 36
- 富士小山わさび平地区【優良田園住宅事業】 38
- 駿河小山駅周辺地区【富士山の眺望を活かした駿河小山駅周辺活性化事業】 40
- 須走周辺地区【富士山に抱かれた須走周辺地区観光活性化事業】 43
- リバーガーデンタウンおやま宅地造成事業推進区域【優良田園住宅事業】 45

3. 小山町のまちづくり推進体制

- 庁内推進プロジェクトチーム『チームフロンティアおやま』 46
- 小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会 46



小山町の紹介

小山町は、静岡県北東端に位置して、北西端は富士山頂に達する。富士山を頂点とした富士外輪状の三国山系(三国山1,320m)と北東方は丹沢山地(不老山930m)東南方は箱根外輪山(金時山1,212m・足柄峠759m)に囲まれ東西に伸びている。

面積は135.74km² 集落、農耕地は海拔300～800m緩傾斜地帯にある。

河川は源を富士、箱根山麓に発する鮎沢川が、馬伏川、須川、野沢川を合して東流し、酒匂川となっている。

町は小山、足柄、北郷、須走の4地域からなっている。



町の鳥:うぐいす



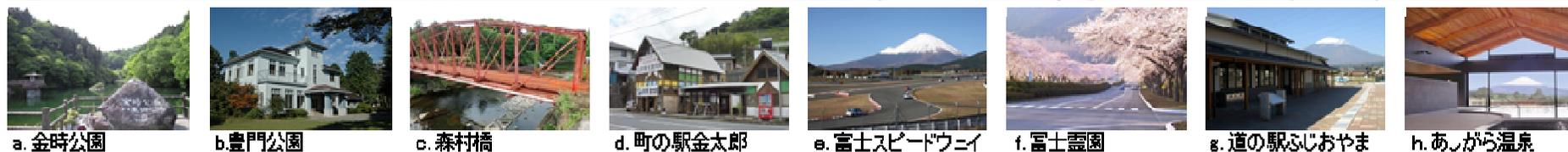
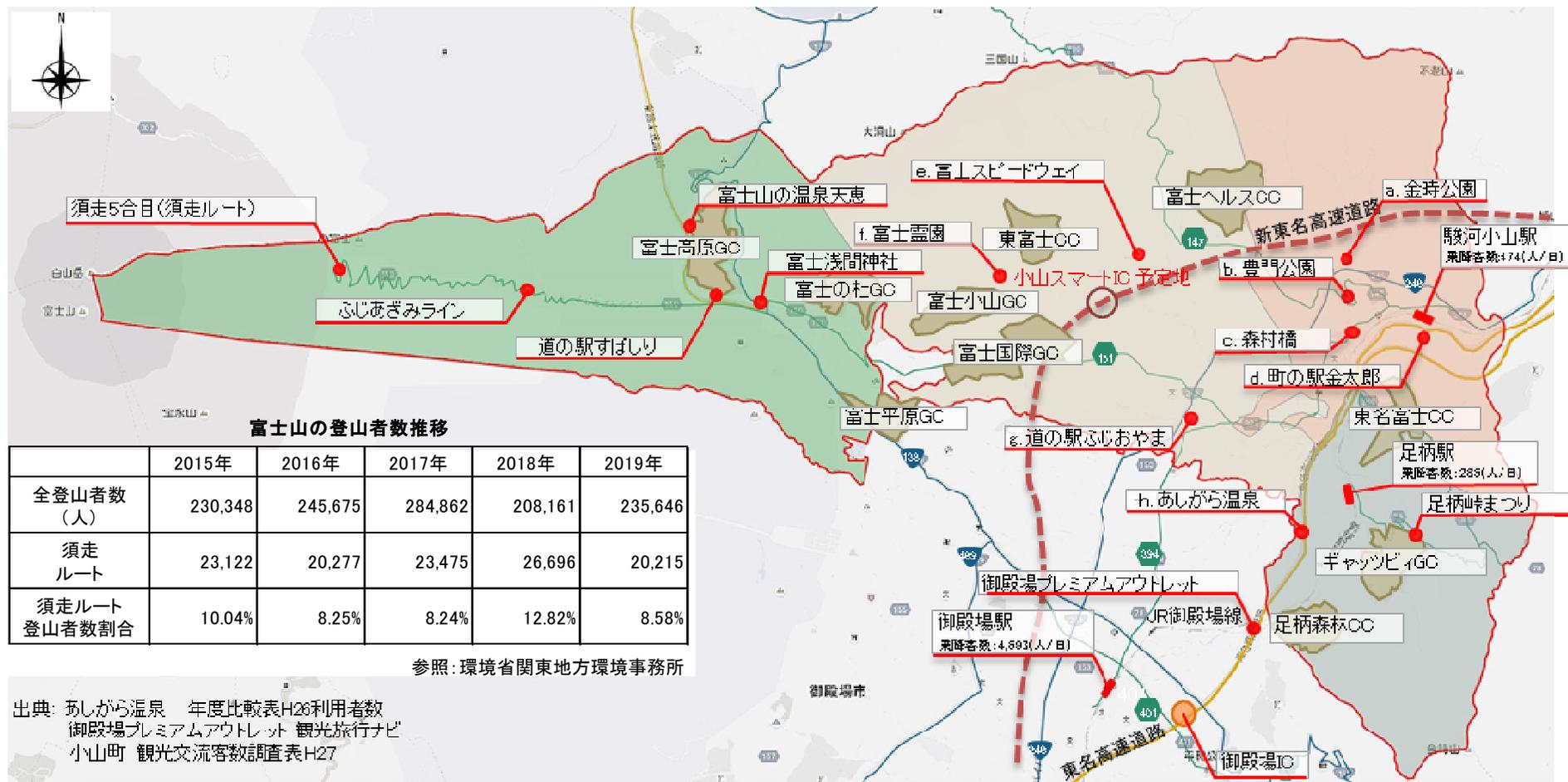
町の木:ふじざくら



町の花:菜の花



小山町の紹介



2017年度、小山町の観光交流目的で訪れた旅行者数はおよそ414万人。内訳は概ね、宿泊12万人、観光等402万人。人口に対する観光交流客数が多く、例年変動なく安定して観光客が来訪しており、観光に対するポテンシャルは高い。

小山町まち・ひと・しごと創生総合戦略 ～富士山金太郎未来タウン構想の実現に向けて～

取組方針

- 方針1 三来拠点事業を中心とした未来を切り拓く取組の推進
- 方針2 官民一体となった持続的な取組の推進

基本目標

- 1 産業拠点の整備を中心に多様な雇用機会を創出する
- 2 居住環境の整備により定住・移住を促す
- 3 結婚・出産・子育て環境の整備により若者世代の希望に応える
- 4 様々な世代の町民が元気に安心して暮らせる環境を整備する

目標

2060年に人口17,000人程度を維持する

静岡県フロンティア推進区域(静岡県)



目標

安全・安心で魅力ある“ふじのくに”の実現

防災・減災と地域成長を両立させた魅力ある地域づくりを実現するふじのくにのフロンティアを拓く取組の静岡県全域への拡大に向け市町の取組や事業の具体化を強化します。「フロンティア推進区域」に指定された区域には、通常の企業立地に関する助成制度に加え、補助率及び限度額の引上げや設備投資等を行う中小企業への貸付に対する利子補給など、県の重点的な支援を行います。(静岡県フロンティアホームページ)

市町	推進区域名称
静岡市	1 駿河区丸子・平津ノ谷地区における新たな物流拠点整備区域
	2 葵区葵餅地区における新たな物流拠点整備区域
	3 大谷・小鹿地区における新たな産業・交流機能等創出推進区域
	4 地域資源活用による都市山村交流推進区域
	5 清水港新興津地区物流拠点整備推進区域
	6 「未来創造」新・ものづくり特区」新・産業集積推進区域
浜松市	7 多様な価値を内包した居住空間づくり推進区域
沼津市	8 「首都圏に一番近い離島・初島」の活力創出推進区域
熱海市	9 農業・観光関連施設集積区域
三島市	10 ツツ谷地区新たな産業拠点整備区域
	11 三島玉沢インターチェンジ周辺医療・健康関連産業集積区域
	12 中とりある田園居住区整備促進区域
	13 北沢地区豊かな暮らし空間創生住宅整備区域
	14 三島塚原IC周辺中とりある田園居住区整備促進区域
富士宮市	15 北山・上井出・白糸地区職住近接集落地域活性化区域
伊東市	16 伊豆・いとう地魚王国推進区域
島田市	17 新東名島田金谷IC周辺都市的土地利用推進区域
富士市	18 新東名新富士IC周辺物流拠点創出事業区域
富士市	19 田子の浦港周辺防災対策にぎわい創出推進事業区域
磐田市	20 江川地区豊かな暮らし空間創生住宅整備推進区域
	21 磐田山下野郡地区産業集積区域
	22 福田漁港周辺「食の拠点」区域
	23 しいわた農業経営塾」推進区域
焼津市	24 「駿田スマートアグリバレー」推進区域
	25 田原北地区」耕作放棄地の再生による高付加価値農業創出推進区域
掛川市	26 大井川焼津臨幹SICを活かした産業拠点推進区域
	27 「上野地区」産業集積推進区域
	28 「寺島・権蔵地区」農地整備推進区域
	29 「倉真第2PA地区」整備推進区域
	30 「大坂・土方地区」産業集積推進区域
藤枝市	31 「新エコ第3期地区」産業集積推進区域
	32 「掛川市海岸命を守る希望の森づくり地区」推進区域
	33 「南西郡地区」産業集積推進区域
御殿場市	34 新東名藤枝岡部IC周辺推進区域
御殿場市	35 板妻南工業団地開発推進区域
	36 駒門周辺地域エコシティ化推進区域
御殿場市	37 「印野地区」豊かな暮らし空間創生住宅整備促進区域

市町	推進区域名称
袋井市	38 袋井市静岡モデル防犯整備と運動した次世代産業拠点創出推進区域
	39 東名袋井IC周辺産業集積拠点創出推進区域
下田市	40 「春日山及び下田公園地域」交流拡大・防災対策推進区域
	41 東名裾野IC周辺地域における防災・減災と職住近接に配慮した地域づくり推進区域
裾野市	42 裾野市北部地域職住近接の防災スマートシティ創出推進区域
	43 新居地区「安全で安心な暮らし空間創生」推進区域
湖西市	44 浜名湖西岸地区産業集積推進区域
	45 天城北道路大平IC周辺「森と農」活力創出推進区域
伊豆市	46 「天城北道路」と「道の駅」を生かした地域振興拠点づくり推進区域
御前崎市	47 御前崎ウォーターフロントにぎわい創出推進区域
菊川市	48 菊川市次世代農業推進区域
伊豆の国市	49 「世界遺産 明治日本の産業革命遺産 蘆山反射炉」及び「江川屋」多様とした歴史文化のまちづくり推進区域
	50 江間工業用地開発推進区域
牧之原市	51 東名相良牧之原IC周辺土地利用推進区域
	52 静波地区「安全で豊かな暮らし空間創生」推進区域
東伊豆町	53 箱取高原特色を生かした観光地づくり推進区域
河津町	54 河津町子育て文化コミュニティ機能集積推進区域
南伊豆町	55 南伊豆町茅田地区産業拠点推進区域
松崎町	56 「道の駅」花の三聖地」等を活用した起業の学びの拠点創出推進区域
西伊豆町	57 安良里地区「防災拠点施設整備推進区域
西伊豆町	58 田子地区「大学生と地域住民との交流拠点施設整備推進区域

市町	推進区域名称
函南町	59 「道の駅・川の駅」を活用した地域産品活用6次産業化推進区域
清水町	60 久米田地区成長産業集積推進区域
長泉町	61 長泉沼津IC周辺物流関連産業集積区域
小山町	62 秋保小山パークエッセンスパークを活用した地域産業集積事業推進区域
	63 再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業推進区域
	64 東名高速道路足柄9-15177周辺を広域都市交流拠点とした土地利用事業推進区域
	65 生活と自然が調和した「富士小山わさび平地区」推進区域
	66 南藤島地区「家・店一体の住まいづくり」推進区域
	67 富士山の眺望を活かした駿河小山駅周辺活性化事業推進区域
	68 富士山に抱かれた清走南辺地区観光活性化事業推進区域
	69 リバーガーデンタウンおやま芝浦地域事業推進区域
吉田町	70 物資供給拠点確保事業推進区域
川根本町	71 企業活動維持支援事業推進区域
	72 ICTを活用したサテライトオフィス・テレワーク推進区域
森町	73 遠州森町PA周辺有効活用推進区域
	74 森掛川IC周辺次世代産業集積区域
	75 内陸部への移転企業の受け皿確保区域

小山町
推進区域
8地区指定



35市町75区域

小山町国土強靱化への取組

3年連続強靱化大賞受賞

- 『ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2017』 地方自治体部門で**金賞**受賞！
- 『ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2018』 国土強靱化地域計画賞で**金賞**受賞！
- 『ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2019』 最優秀レジリエンス賞受賞！



(東京・有楽町朝日ホール)



(東京・時事通信ホール)

小山町国土強靱化地域計画 (2016年5月策定)

1 基本理念

小山町では、防災・減災と地域成長を両立させる国土強靱化の趣旨を踏まえた地域づくりを進める際に、町民・行政・民間事業者の「参加と協働」によるまちづくりの推進を図り、町民の「安全・安心」を最優先とする必要があります。このため、「富士山頂のあるまち」「金太郎生誕の地」にふさわしい元気で、強く、安全な地域社会の実現を基本理念としました。

2 基本目標

いかなる災害が発生しようとも、

- (1) 人命の保護を最大限図る
- (2) 地域社会の重要な機能の致命的な障害の回避及び維持を図る
- (3) 町民の財産及び公共施設に係る被害の最小化を図る
- (4) 迅速な復旧復興を図る

災害対策に数値目標を設定

<小山町山地強靱化総合対策協議会>

平成22年の台風9号による災害発生以降、脆弱となった町内森林では山腹崩壊や火山砂礫(スコリア)土砂の流出など、山地に起因する災害が頻繁に発生する状況となっており、山地災害の復旧、予防対策工事の実施及び森林整備の推進が急務となった。

このため、本町では、平成25年6月に、「小山町山地強靱化総合対策協議会」を発足した。当協議会は、不老山地区、下谷・大沢地区、足柄地区、北郷地区、須走地区の5つのそれぞれの地域部会の活動を支援し、関係行政機関との連携を一層強化することにより、災害に強い強靱な森林づくりを目指している。

事業内容は下記のとおりである。

- (1) 継続的に活動できる組織づくりに向けた森林整備の推進
- (2) 森林整備に関する情報共有と施業集約化の推進
- (3) 林野庁による民有林直轄治山事業の推進(荒廃森林の復旧加速化)
- (4) 持続可能な地域循環型林業整備(「内陸のフロンティア」を拓く取組との連携)

バスで巡る新しい小山町

～F・B・T・O（ファンタスティック・バス・ツアー・おやま）～

各戸配布 小山町 F・B・T・O 新春 2月
ファンタスティック・バス・ツアー・おやま 2019

バスで巡る新しい小山町

変化の時を感じる
社会科見学！

主要訪問先
・DREAM Solarふじおやま
・富士山麓フロンティアパーク小山
・勝サンファーム富士小山
・足柄SA周辺地区
(ホテルジャストワン等)

参加者募集！

雨天決行 開催日：平成31年2月16日（土）
9:00～15:30

集合場所：小山町総合文化会館 2階集会室に8:50までに集合
(住所：小山町町会野130)

参加対象者：町内在住、通勤、通学の方 28名
参加費：1,500円 ※昼食代、保険代等含まれます。
主催：小山町

小山町内陸のフロンティアを拓く取組推進協議会
応募期限：平成31年2月5日（火）必着

- ・裏面の申込書にご記入のうえ、FAX・郵送・ご持参のいずれかで役場未来拠点課もしくは最寄りの支所までお申込み下さい。
- ・応募者多数の場合、抽選を行います。後日抽選結果を応募者全員にご連絡致します。

各戸配布 小山町 F・B・T・O 3月
ファンタスティック・バス・ツアー・おやま 2019

バスで巡る新しい小山町

変化の時を感じる社会科見学！
新しく開通する足柄スマートICの
通り初めに参加し、開通前道路を歩きます！

主要訪問先
・DREAM Solarふじおやま
・富士山麓フロンティアパーク小山
・勝サンファーム富士小山
・足柄SA周辺地区
(ホテルジャストワン等)

参加者募集！

雨天決行 開催日：平成31年3月9日（土）
9:00～15:30

集合場所：小山町健康福祉会館 多目的ホールに8:50までに集合
(住所：小山町小山75-7)

参加対象者：町内在住、通勤、通学の方 28名
参加費：1,500円 ※昼食代、保険代等含まれます。
主催：小山町

小山町内陸のフロンティアを拓く取組推進協議会
応募期限：平成31年2月18日（月）必着

- ・裏面の申込書にご記入のうえ、FAX・郵送・ご持参のいずれかで役場未来拠点課もしくは最寄りの支所までお申込み下さい。
- ・応募者多数の場合、抽選を行います。後日抽選結果を応募者全員にご連絡致します。

・町内団体バスツアー（2018年度以降）

実施日	参加者数	対象者
2019. 10.24	73人	小山中学校
2019. 9.9	26人	企業懇話会
2019. 4.10	23人	老楽会
2019. 3.26	27人	小山町文化連盟
2019. 3.25	14人	社会福祉協議会
2019. 3.20	25人	小山町商工会・企業懇話会
2019. 3.13	23人	四季の旅人
2019. 2.13	38人	小山町民生委員
2018.11.22	30人	小山町保健委員
2018.11. 8	71人	小山中学校
2018.11. 6	23人	須走小学校PTA
2018.10.29	31人	小山町連合婦人会
2018.10. 1	39人	群青の会
2018. 9.13	12人	静岡県退職公務員連盟小山支部
2018. 8.10	31人	小山町区長会
2018. 6. 1	22人	小山町消費者実践人参グループ
2018. 4.11	33人	小山町教育委員会

【実績】・町民向けバスツアー（F・B・T・O）

実施日	参加者数
2019. 3. 9	44人
2019. 2.16	28人
2019. 1.26	23人
2018.12.22	27人
2018.11.24	28人
2018.10.27	47人
2018. 4.24	21人

F・B・T・O
413名参加



バスで巡る新しい小山町

～F・B・T・O（ファンタスティック・バス・ツアー・おやま）～



湯船原地区
富士山麓フロンティアパーク小山



湯船原地区
静東原木流通センター



湯船原地区
次世代施設園芸団地



富士小山わさび平地区
優良田園住宅事業

小山町による職業斡旋

そんなあなたの
仕事探しを町がサポートします！
「ポンジュール・トラバース」
をご利用ください。

子育てしながら
家の近くで
無理なく働けませんか…。

小山町から通勤範囲内の求人情報をネットで提供
しています。
ネットだけでなく、
窓口でも相談に
応じます。
お気軽にお問
合せてください。

小山町定住移住情報サイト「ASUO」
(<http://asuoyama.jp/>)
⇒「しごと」をクリック
⇒「ポンジュール・トラバース」
※PC・スマホでご覧いただけます。

お問い合わせは
小山町役場
おやまで暮らしそう課
0550-76-6137
kuraso@fuji-oyama.jp
小山町職員57-2 小山町役場内

静岡県
小山町
Oyama Town

労働力不足を補うため、
高校生を対象としたバスツアー以外
に、町自ら職業斡旋を行っています。

企業側と働き手双方のニーズに合っ
た職業斡旋ができる様に
「ポンジュール・トラバース」
(<http://asuoyama.jp/>)を開設してお
ります。

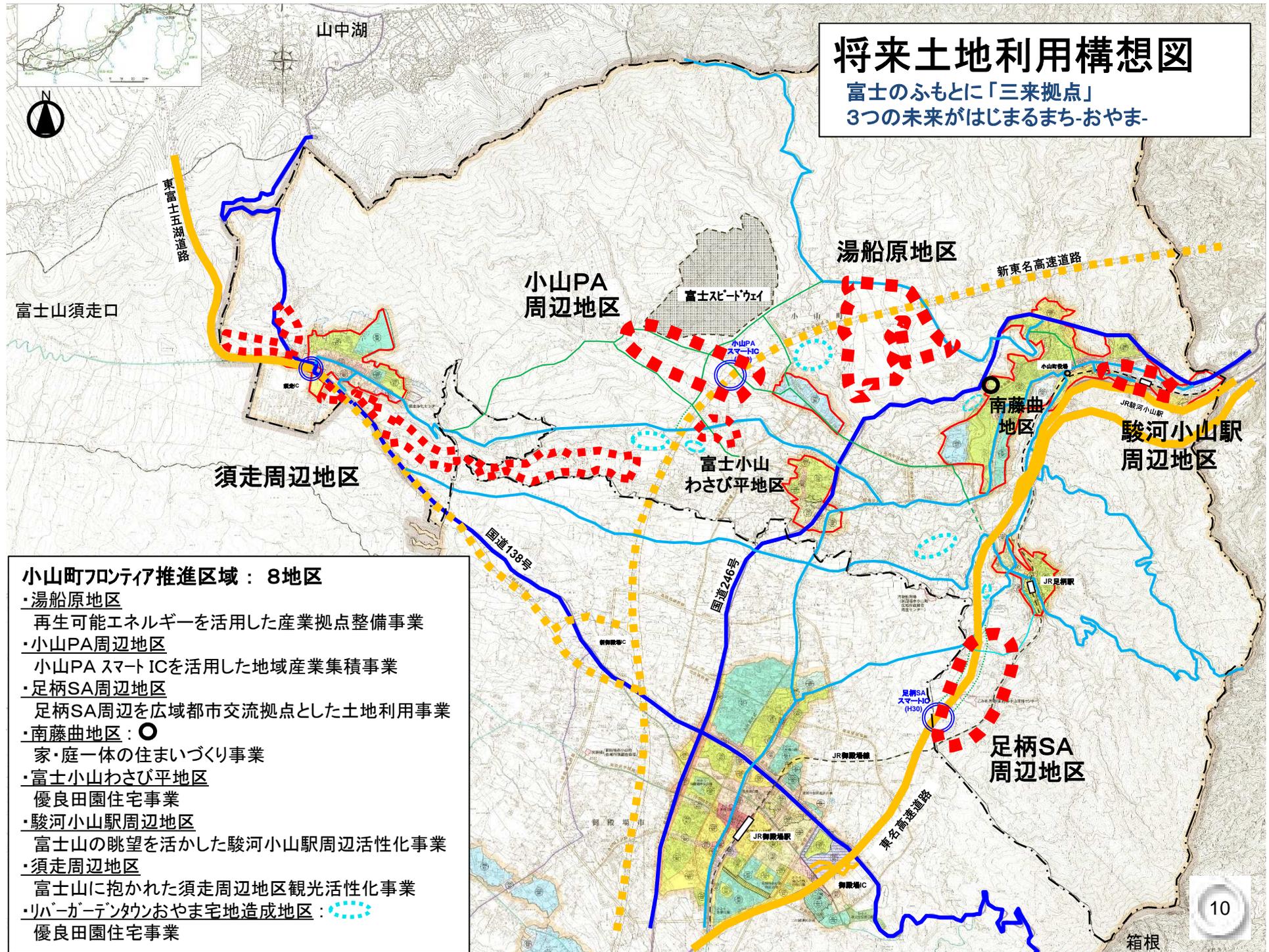
お気軽にご相談ください。

【参加者の声】

- ・未来の小山町が楽しみになった。
- ・住んでいても知らないことを体感できた。
- ・子や孫の代の雇用が期待できる。
- ・町の変化を体感できた。 など

将来土地利用構想図

富士のふもとに「三来拠点」
3つの未来がはじまるまち-おやま-



小山町フロンティア推進区域：8地区

- ・湯船原地区
再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業
- ・小山PA周辺地区
小山PA スマート ICを活用した地域産業集積事業
- ・足柄SA周辺地区
足柄SA周辺を広域都市交流拠点とした土地利用事業
- ・南藤曲地区：○
家・庭一体の住まいづくり事業
- ・富士小山わさび平地区
優良田園住宅事業
- ・駿河小山駅周辺地区
富士山の眺望を活かした駿河小山駅周辺活性化事業
- ・須走周辺地区
富士山に抱かれた須走周辺地区観光活性化事業
- ・リバーガーデンタウンおやま宅造成地区：●
優良田園住宅事業

小山町近隣の人口

	人口	車	電車
1 富士吉田市	50,479	44分	-
2 南都留郡山中胡村	5,906	33分	-

	人口	車	電車
3 富士宮市	130,770	54分	-
4 富士市	248,399	51分	-
5 小山町	19,497	-	-
6 御殿場市	88,078	18分	13分
7 裾野市	52,737	38分	33分
8 三島市	110,046	47分	1時間
9 清水町	32,118	46分	-
10 沼津市	201,691	50分	53分

	人口	車	電車
11 秦野市	167,387	46分	35分
12 松田町	11,162	28分	23分
13 中井町	9,683	42分	41分
14 大井町	11,162	31分	29分
15 山北町	10,723	19分	12分
16 開成町	17,021	28分	32分
17 南足柄市	43,328	27分	31分
18 小田原市	194,174	50分	48分
19 箱根町	11,717	49分	1時間

静岡県、神奈川県、山梨県
近隣人口合計 1,395,233人

※各市町村HPより（人口：平成27年10月国勢調査）※GoogleMap参照

小山町近隣の工業系高校・大学・大学院



湯船原地区：再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業推進区域

フロンティア推進区域
(第1次指定 2014.5.27)

政策課題	<ul style="list-style-type: none"> ●脆弱となっている町内山林に起因する災害が頻発しているため、持続可能な資源循環型林業の構築による災害に強い強靱な森林づくりが急務となっている。 ●森林資源を中心に多様なエネルギー有効利用が求められている
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ●資源循環型林業構築のため、木質バイオマス発電所を建設するとともに、木質バイオマスを活用した次世代施設園芸を誘致する。 ●木質バイオマスと太陽光のハイブリッド発電によるエネルギーの地産地消を実現する。 ●有事の際には、隣接する工業団地等へ電力供給する仕組みを構築し、災害に強く持続可能な分散自立型の地域づくりを実現する。

【事業内容】

- ・災害に強く持続可能な再生可能エネルギー（木質バイオマス発電、太陽光発電）、工業団地、次世代施設園芸団地の整備

【想定している事業実施主体】

- ・県企業局（小山湯船原工業団地）、富士小山次世代施設園芸推進コンソーシアム
小山町、発電事業者等

【推進体制の設置状況及び活動状況】

- ・小山町内陸のフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資
○	○	○	○

【区域の範囲】（対象面積：約300ha）



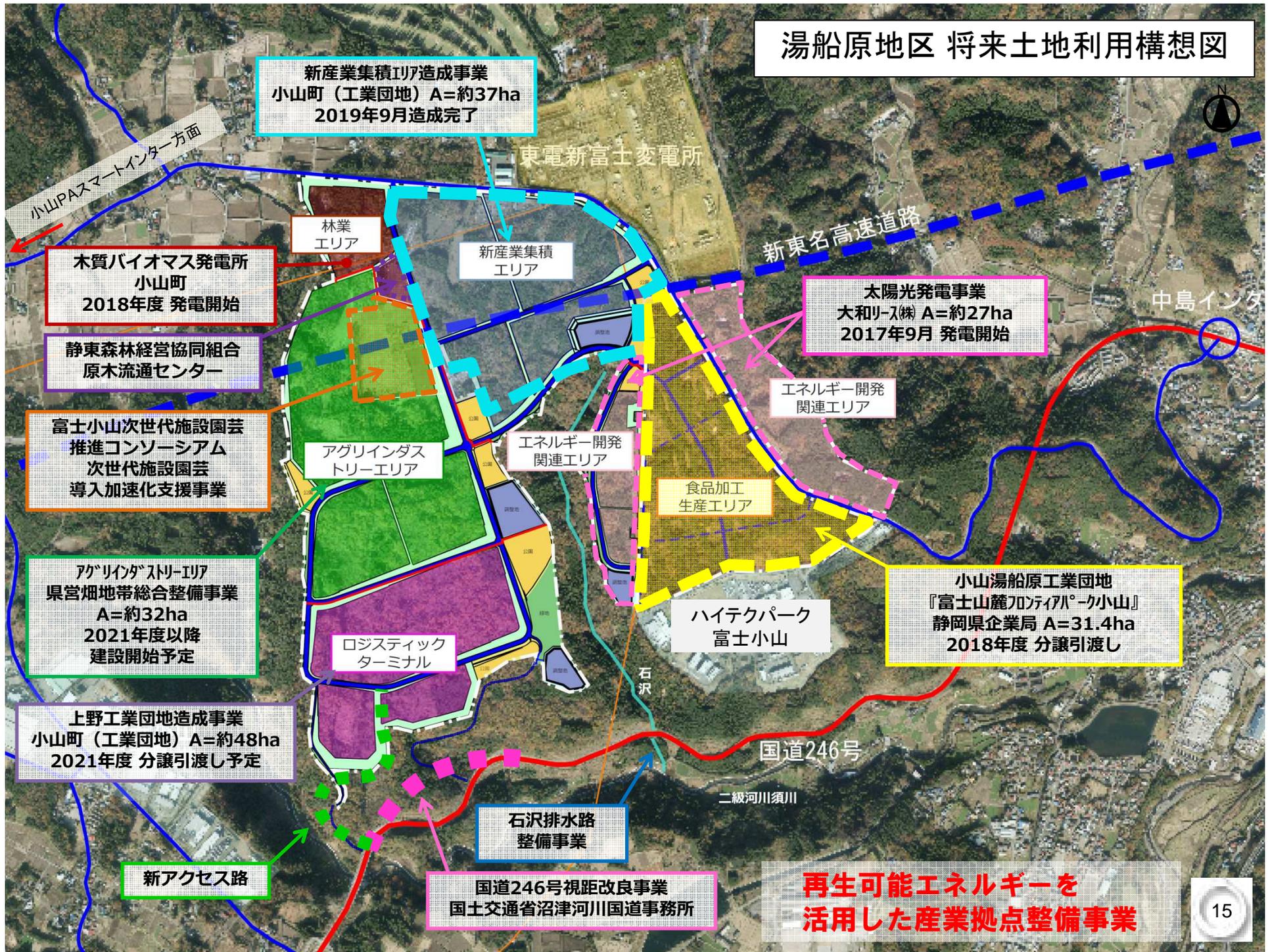
【スケジュール】

2014年度	小山湯船原工業団地造成詳細調査・地元調整 次世代施設園芸地元調整・造成着手
2015年度	小山湯船原工業団地造成着手準備 新産業集積エリア造成事業詳細調査・地元調整 次世代施設園芸施設整備完了、太陽光発電事業着手、再生可能エネルギー活用基本方針作成
2016年度	小山湯船原工業団地造成着手、新産業集積エリア造成工事着手、アグリンダストリーエリア基本調査・地元調整、ロジスティック・ミナルエリア詳細調査・地元調整、国道246号視距改良新規事業化・地元調整 次世代施設園芸農作物栽培開始 木質バイオマス発電事業実施設計 太陽光発電事業完了
2017年度	小山湯船原工業団地造成工事、新産業集積エリア造成工事、アグリンダストリーエリア農用地整備新規事業化、ロジスティック・ミナルエリア造成着手準備 国道246号視距改良工事着手 木質バイオマス発電事業着手

湯船原地区現況写真

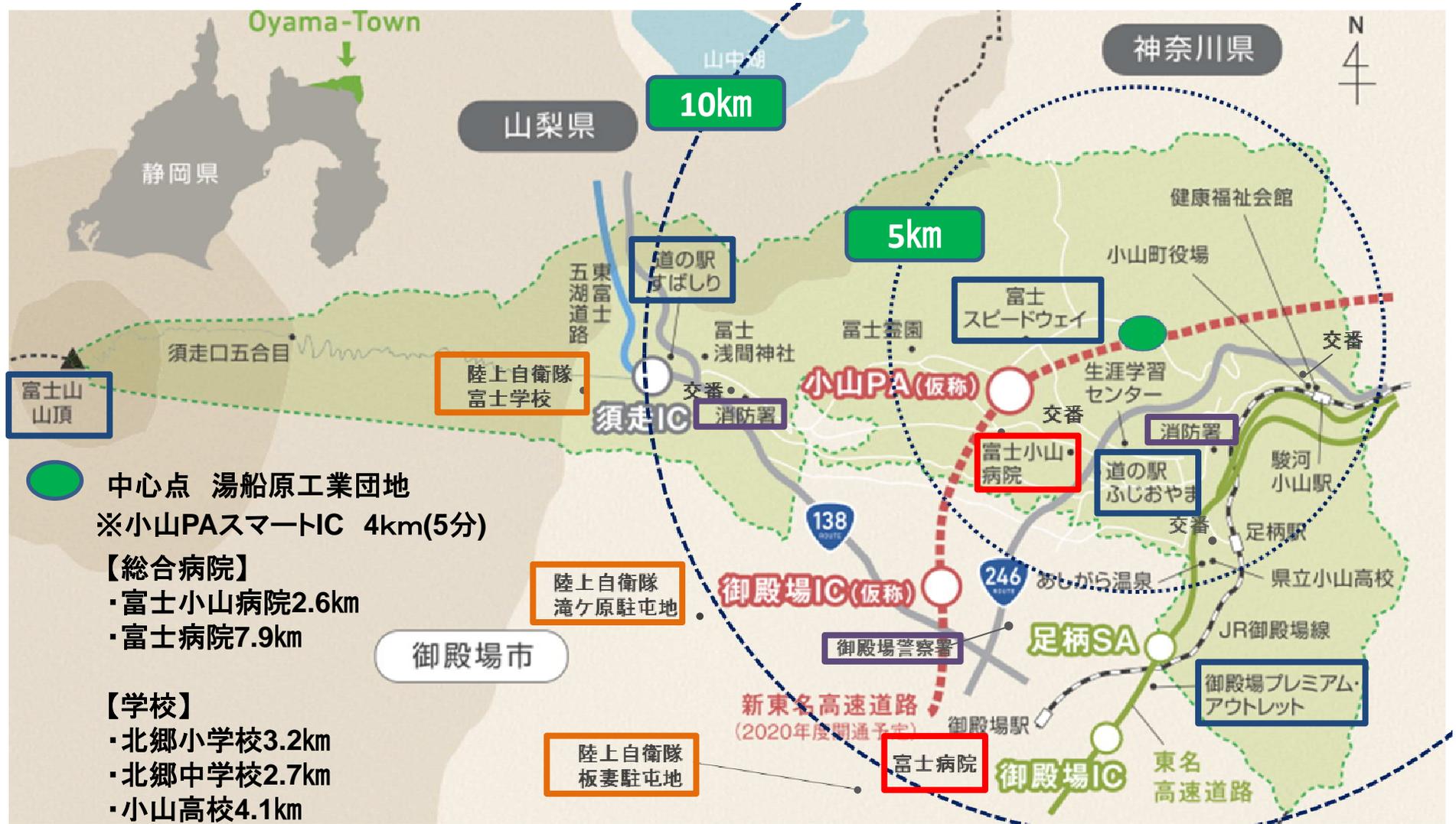


湯船原地区 将来土地利用構想図



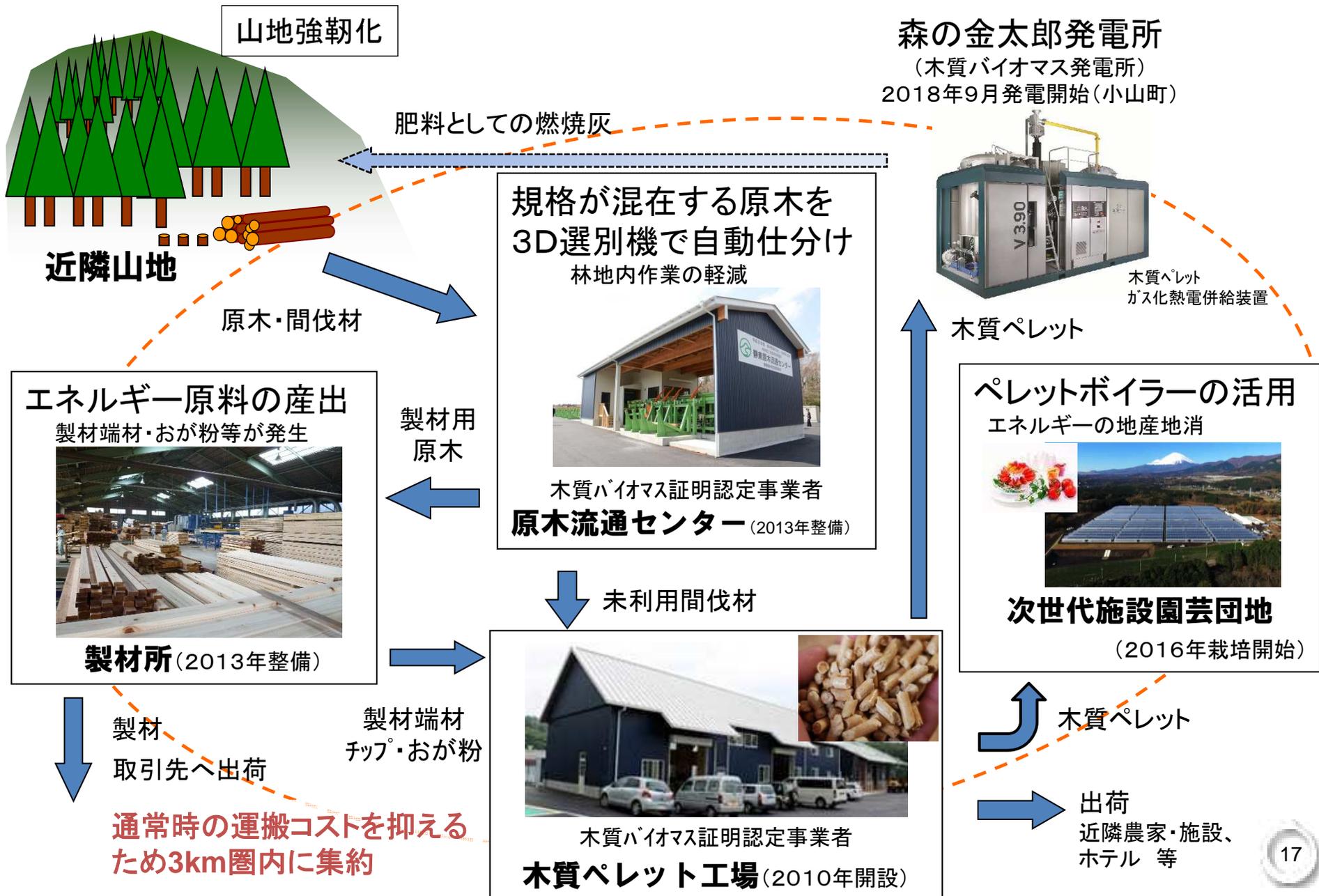
**再生可能エネルギーを
活用した産業拠点整備事業**

湯船原地区から主要施設までの距離



-
 観光施設
-
 自衛隊
-
 総合病院
-
 消防署・警察署

持続可能な地域循環型林業構築（静岡県小山町）



「森と工場を結ぶストックヤード」 静東原木流通センター（林業エリア）

近隣山地の原木・間伐材を取り扱うことで、山地強靱化に寄与しています！



静東原木流通センター（木質バイオマス証明認定事業者）
集荷された原木を効率よく選別し、正確かつスピーディーに仕分けしたうえで安定的に製材工場等に供給



ストックヤード面積 10,000㎡
3D選別機による原木仕分け(20種類仕分け)
年間取扱量: 37,500㎡~50,000㎡(5か年計画)



『富士山-金時材』初荷式 平成27年2月9日



富士山 - 金時材

小山町材の愛称は、『富士山-金時材』です。
町内に集荷したスギ、ヒノキ等の丸太（原木）を、町内及び町周辺の工場で加工した木材製品の流通促進を図るため、広く地域住民に愛されるとともに、小山町材の魅力を全国に発信できるような愛称を選定しました。

小山町湯船原地区木質バイオマス発電事業(林業エリア)

～ 林業を初めとする町内地場産業の活性化・災害に強い強靱な森林と地域づくり・地球温暖化防止 ～

木質バイオマス発電(売電) + 熱供給(売熱)

FITによる売電事業をベースに排熱を有効活用する売熱事業併給モデルの展開



『森の金太郎発電所』2018年度発電開始

未利用間伐材を活用した木質ペレットを発電資源として利用



2018年9月2日開所式実施



熱電併給ユニット(ブルクハルト社:ドイツ)
発電資源:木質ペレット(年約825t 使用)
発電能力:180kW 熱供給能力:270kW

◎外観コンセプト『森の中の公園に建つ東屋』

日常管理を考えた軒下空間を設け、地域循環型林業や再生可能エネルギーの啓発を兼ねた木の可能性を十分に活かす木造建築

屋根へ太陽光発電設備設置、必要天井高さの違いを利用したレクチャー
展望スペースを設置

次世代施設園芸導入加速化支援事業(アグリインダストリーエリア)

農林水産省 次世代施設園芸導入加速化支援事業

静岡県拠点 (小山町)



生産者: (株)サンファーム富士小山

アメリトマト



地域資源とICTを活用した次世代施設園芸拠点



富士小山次世代施設園芸拠点竣工式典
2016.6.10 静岡県知事内覧会



栽培品目	面積 (ha)	目標収量 (t/年)
高糖度トマト	3.2	228
高糖度ミニトマト	0.8	24
合計	4.0	252

静岡県企業局『小山湯船原工業団地』造成事業（食品加工生産エリア）

『富士山麓フロンティアパーク小山』

富士山を借景にした森に佇む工業団地



2018年10月
工事完成

区画	社名	業種	本社
1	(株)アクシージア	化粧品	東京都
2-1	ウチヤマホールディングス(株)	金属製品製造業	岡山県
2-2	(株)東海ホールディングス	食料品製造業	愛知県
3	シンコー技研(株)	化学薬品の製造販売	東京都
6	(株)やまみ	食料品製造業	広島県
7-1	(株)ハナミスイ	管理医療機器製造業	東京都
7-2	(株)アドベル	その他事業サービス業	神奈川県

○分譲面積・価格

区画	分譲面積 (㎡)	分譲価格(確定測量後)	
		単価(円/坪)	価格(円)
区画1	11,388.43	分譲済	
区画2-1	19,791.33	分譲済	
区画2-2	19,276.07	分譲決定済	
区画2-3	25,025.32	72,017	546,133,221
区画3	20,177.92	分譲済	
区画4	39,407.49	68,046	812,577,342
区画5	25,936.07	69,107	543,142,819
区画6	50,481.34	分譲済	
区画7-1	10,000.09	分譲済	
区画7-2	17,352.06	分譲決定済	



種別	色別
森林・緑地	緑
公園・広場等	黄
水道施設用地	粉
調整池	水

小山町湯船原地区太陽光発電事業（エネルギー開発関連エリア）

発電所名『DREAM Solar ふじおやま』

- ・事業区域 A=約27ha
（東京ドーム6個分）
- ・発電規模 16.4MW
- ・一般家庭4,100世帯分の発電量
- ・2017年9月 発電開始

小山湯船原工業団地
富士山麓フロンティアパーク小山
A=31.4ha

災害時の実力



停電時に充電可能



2017.9からの発電状況

(Mwh)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2019年度	1,984	2,233	1,699	1,419	1,751	1,602	1,126						11,814
2018年度	2,012	2,113	1,829	2,200	2,066	1,213	1,529	1,274	1,017	1,485	1,223	1,806	19,767
2017年度						1,534	1,121	1,458	1,470	1,410	1,590	1,846	10,429

新産業集積エリア工業団地造成事業（新産業集積エリア）

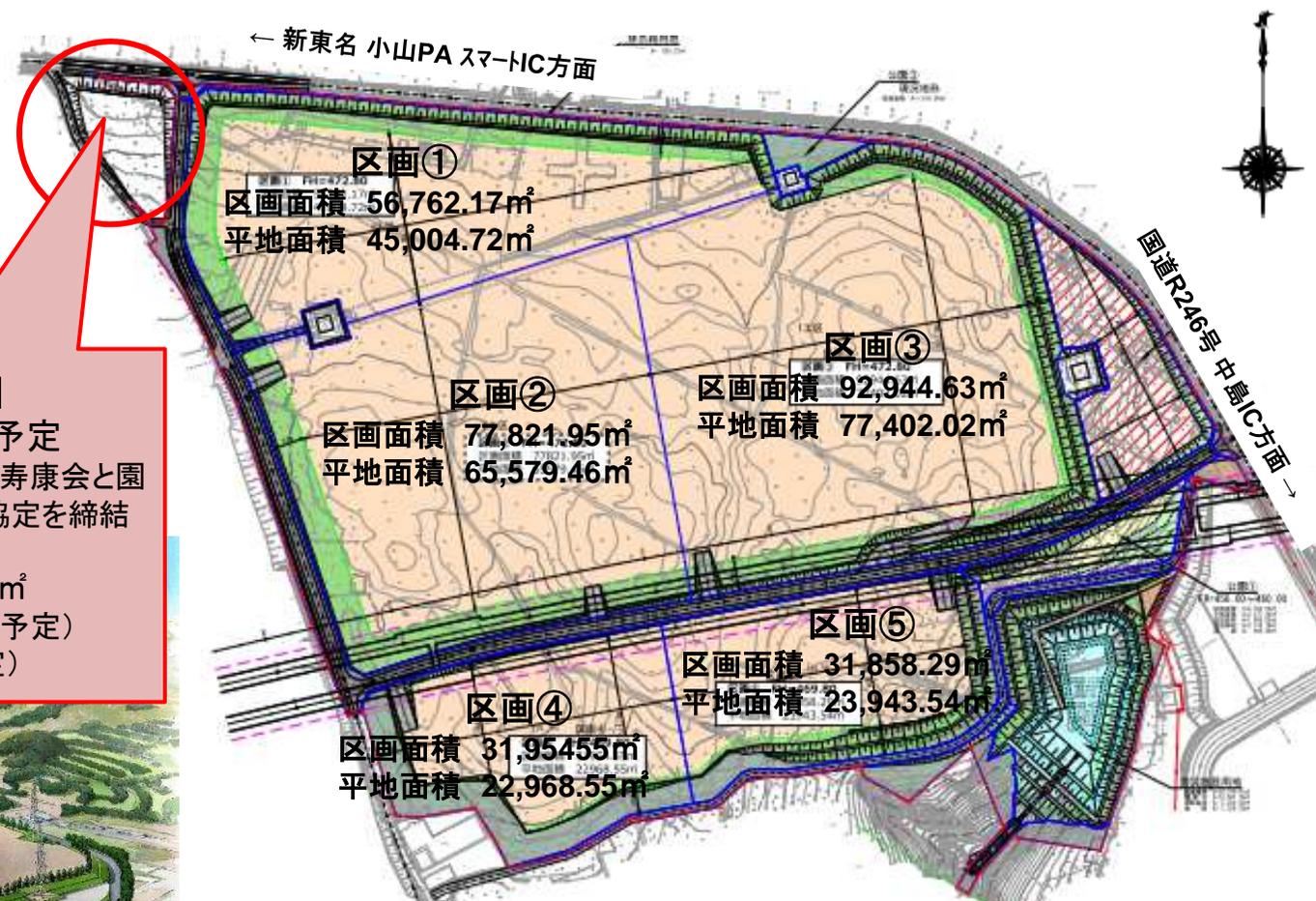
新東名高速道路(仮称)小山PA スマートIC(2023年度供用開始目標)まで 3km(4分)
 沿岸部からの工場移転の受け皿としながら、雇用の創出をはじめとする町の活性化に寄与する工業団地を造成
 ※2019年9月造成完了

事業主体:小山町
 事業協力者:大和ハウス工業(株)
 事業区域 A=約37ha

安全祈願祭(2017. 4. 5)
 伐採工事完了(2018. 1月)
 調整池完了(2018. 9月)
 造成工事完了(2019. 9月)

認定こども園
 2020年4月開園予定
 2018年6月社会福祉法人寿康会と園整備事業に関する基本協定を締結

敷地面積:3,859㎡
 建築面積:約800㎡(予定)
 定員:90名(予定)



北側販売面積(区画①~③)約22.7ha
 南側販売面積(区画④~⑤)約6.3ha

県営畑地帯総合整備事業 (アグリインダストリーエリア)

換地を行い農地中間管理機構による利用集積を進め施設園芸団地を整備、畑地のほ場条件の改善を図り作物の生産性を向上、食品系工業団地と連携及び木質バイオマス発電所と熱供給連携を検討
 ※2021年度以降 施設建設開始予定

県営畑地帯総合整備事業
 事業区域 A=約32ha

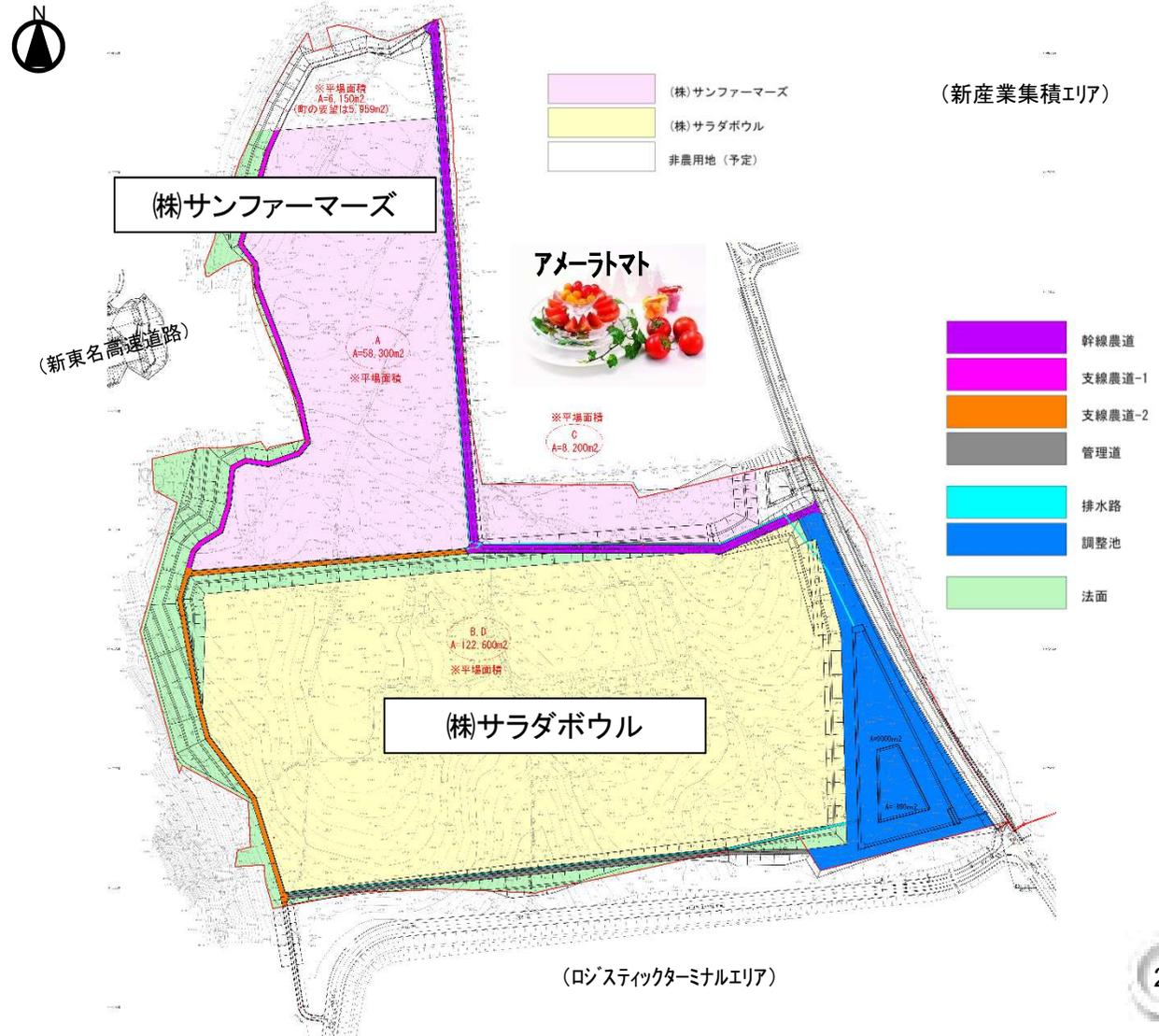
伐採工事着手(2018年4月)
 調整池工事着手(2018年11月)

- ・農道整備
- ・用排水路整備
- ・農用地整備

【企業立地に関する基本協定締結】

立地企業: (株)サンファーマーズ
 A=7.8ha
 建設開始: 2021年度(予定)

立地企業: (株)サラダボウル
 A=13.5ha
 建設開始: 2022年度(予定)

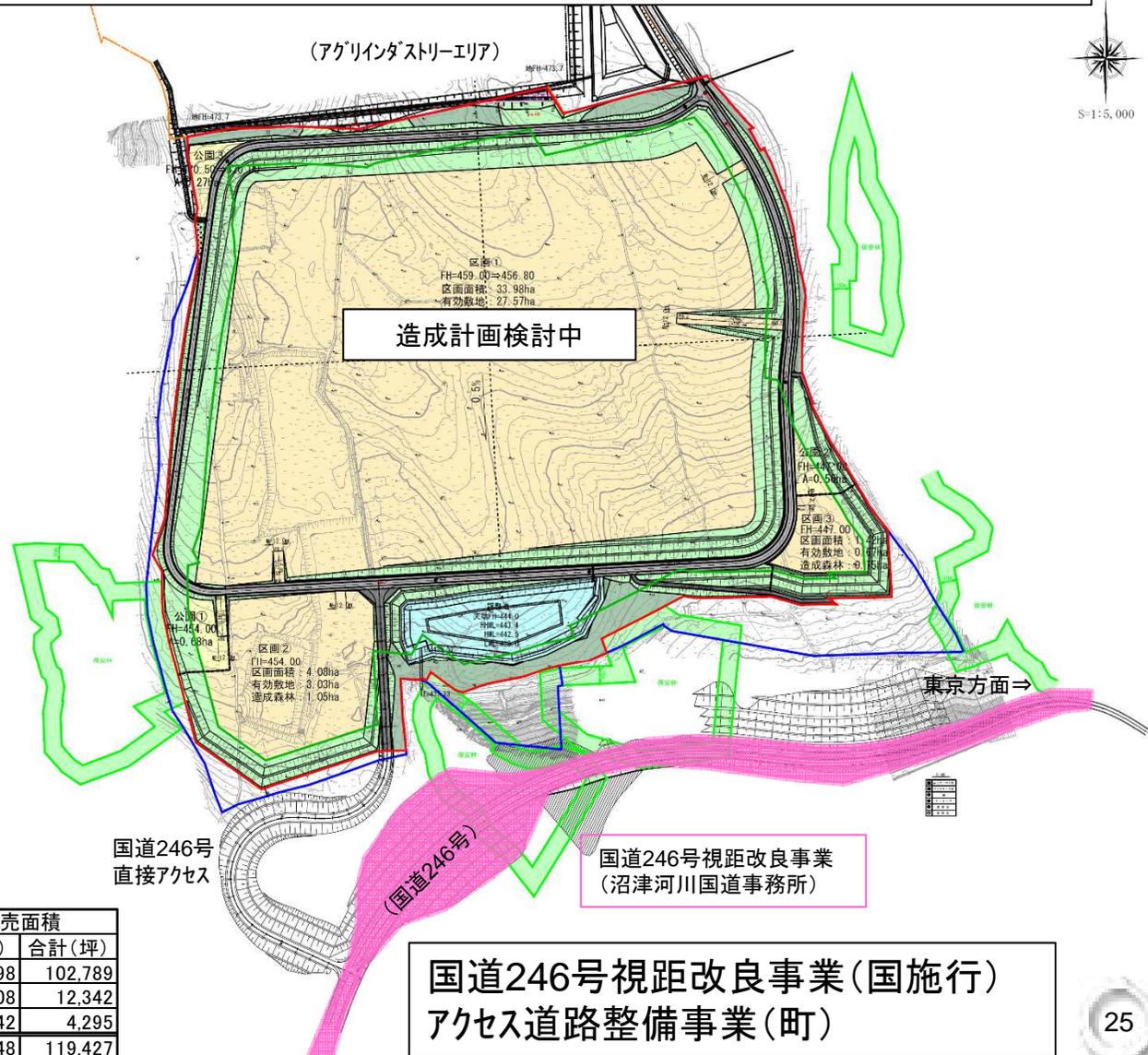


上野工業団地造成事業・国道246号視距改良事業（ロジスティックターミナルエリア）

沿岸部からの工場移転の受け皿としながら、雇用の創出をはじめとする町の活性化に寄与する工業団地を造成
 ※2021年度分譲目標

事業主体：小山町
 事業協力者：大和ハウス工業(株)
 事業区域 A=約48ha

2019年度造成工事着手目標
 ※造成計画検討中



区画販売面積（詳細検討中）

区画	有効敷地		法面・緑地		販売面積	
	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	合計 (坪)
①	27.57	81.1%	6.41	18.9%	33.98	102,789
②	3.03	74.3%	1.05	25.7%	4.08	12,342
③	0.67	47.2%	0.75	52.8%	1.42	4,295
合計	31.27	79.2%	8.21	20.8%	39.48	119,427

国道246号視距改良事業(国施行)
 アクセス道路整備事業(町)

小山PA周辺地区現況写真



小山PA周辺地区：(仮称)小山パークینگエリア・スマートインターを活用した 地域産業集積事業推進区域

フロンティア推進区域
(第1次指定 2014.5.27)

政策課題	<ul style="list-style-type: none"> ●新東名高速道路（仮称）小山PAにスマートICが設置されることから、豊富な地域資源を活用した観光サービス産業への参入などの企業ニーズに的確に対応する必要がある。 ●小山PA周辺の観光施設や立地企業と連携した防災拠点の創出が求められている。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ●（仮称）小山スマートIC周辺に、地場産品販売所等の設置や自動車関連産業の集積を行い、地域の観光資源を活かしたビジネス観光拠点を創出する。 ●有事においては、立地企業等との協定等を締結し、（仮称）小山PA、富士スピードウェイと連携した防災拠点を創出する。

【事業内容】

- ・地域防災力を高める観光関連施設及びモータースポーツ関連産業の集積

【想定している事業実施主体】

- ・小山町

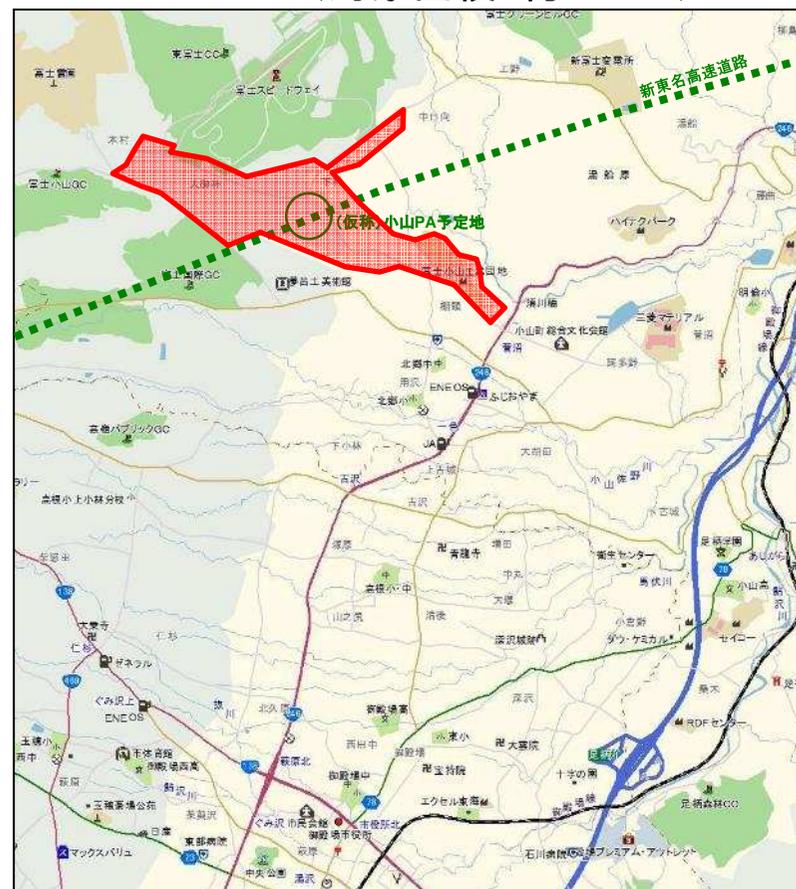
【推進体制の設置状況及び活動状況】

- ・小山町内陸のフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資
○	○	○	○

【区域の範囲】（対象面積：約190ha）



【スケジュール】

2015年度	土地区画整理組合設立準備委員会設立、地区計画案作成
2016年度	実施設計
2017年度	地権者等協議会設立

小山PA周辺地区 将来土地利用構想

**小山パーキングエリア・
スマートインターを活用した
地域産業集積事業**

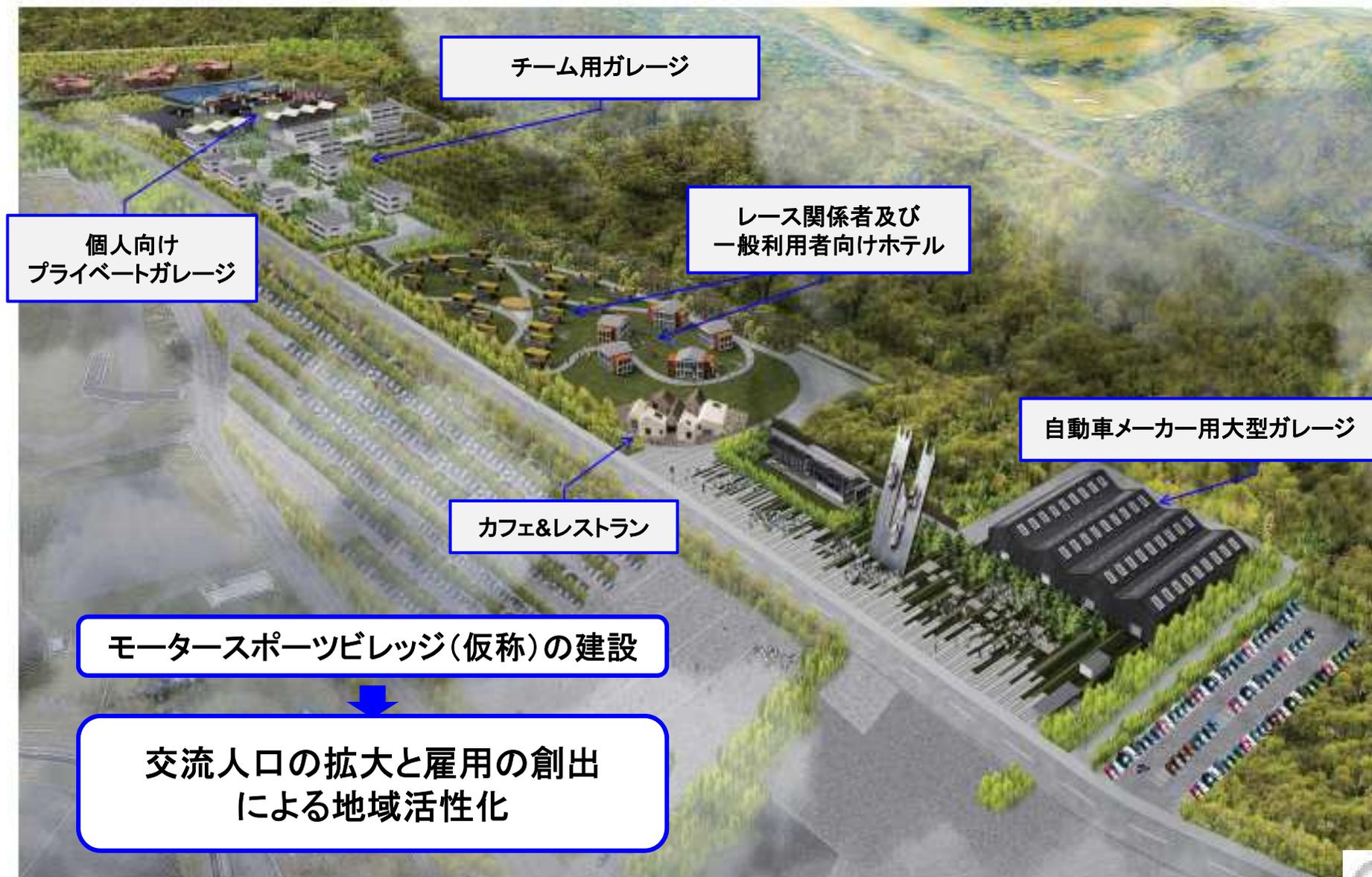


事業協力者: 代表事業者・東和不動産(株)
共同提案事業者・坪井工業(株)

2018年8月基本協定締結

2019年度 造成工事着手(予定)
2021年4月一部営業開始(予定)

小山PA周辺地区 土地利用計画図



今後実施する基本計画・実施設計により内容に変更が生じる場合があります。

足柄SA周辺地区：東名高速道路足柄サービスエリア周辺を広域都市交流拠点とした 土地利用事業推進区域

フロンティア推進区域
(第1次指定 2014.5.27)

政策課題	<ul style="list-style-type: none"> ●東名足柄SA周辺は、豊かな自然環境や優れた交通利便性を活かした交流の場の創出と企業の集積が必要となっている。 ●富士山火山防災も視野に入れた防災拠点の創出が求められている。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ●東名高速道路足柄SAにスマートインターチェンジを整備するとともに、観光拠点施設の整備及び工業用地を創出する。 ●有事においては、立地企業等と防災協定を締結することで、広域防災拠点として活用する。また、新東名（仮称）小山PAと連携し、防災機能の強化を図る。

【区域の範囲】（対象面積：約64ha）



【スケジュール】

2015年度	スマートIC連結許可申請 開発事業地権者協議会設立
2016年度	スマートIC連結許可、整備事業着手 開発許可、事業着手、防災協定締結
2017年度	スマートIC整備工事 開発事業工事
2018年度	スマートIC整備完了 開発事業完了

【事業内容】

- ・広域防災拠点となり得る観光関連施設及び工業用地の整備、スマートインターチェンジの整備

【想定している事業実施主体】

- ・民間事業者、小山町

【推進体制の設置状況及び活動状況】

- ・小山町内陸のフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資	住宅整備助成	農業基盤整備支援
○	○	○	○	—	—

足柄SA周辺地区現況写真



東名高速道路足柄SA周辺を
広域都市交流拠点とした土地利用事業

RDFセンター： 御殿場市・小山町広域ごみ処理施設
(2014年度末で廃止→跡地利用)
※2018年解体工事完了

足柄SA周辺地区(桑木地区)複合観光施設開発事業

ふじのくに AQUA x IGNIS 小山 事業計画

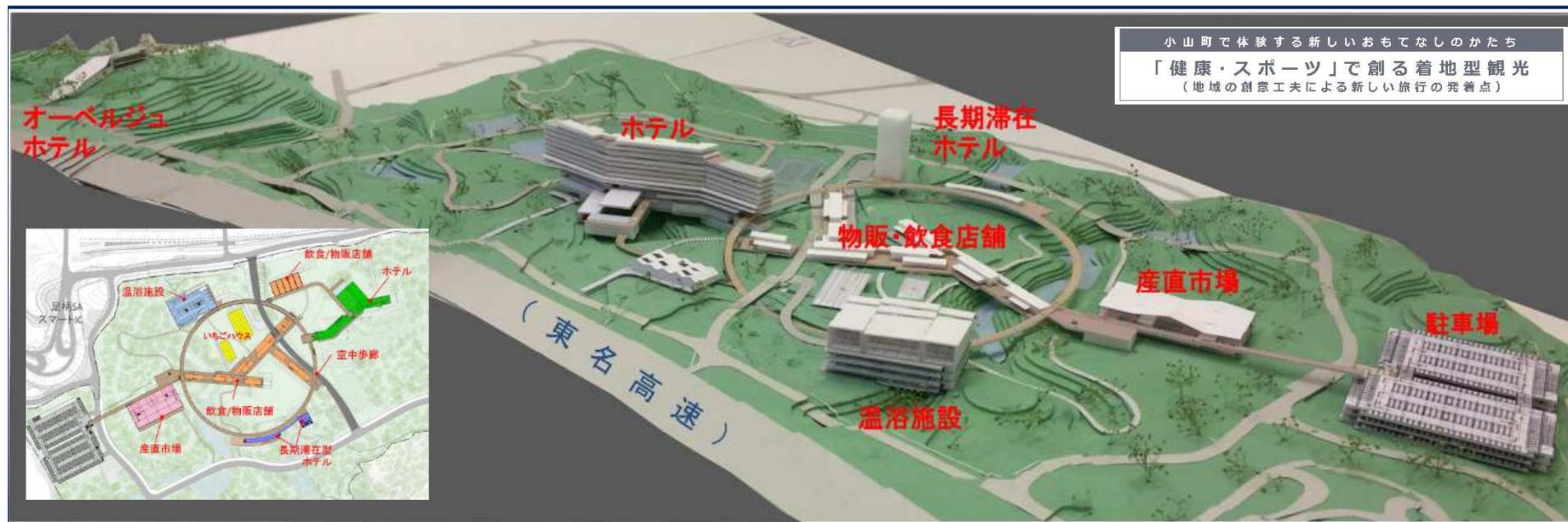
建築設計者



千葉 学 ©Wu Chia-Jung
建築家
東京大学大学院工学研究科教授

- ☆県内の海の幸・山の幸を集め販売する**産直市場**
- ☆国内外で活躍する**有名シェフのレストラン**
- ☆本物の素晴らしい**富士山を眺める温泉**
- ☆上質な滞在を約束する**ハイエンドブランドのホテル**

「森をできる限り残して 豊かな自然のもつ魅力を活かす」



(株)ふじのくにアクアイグニス小山

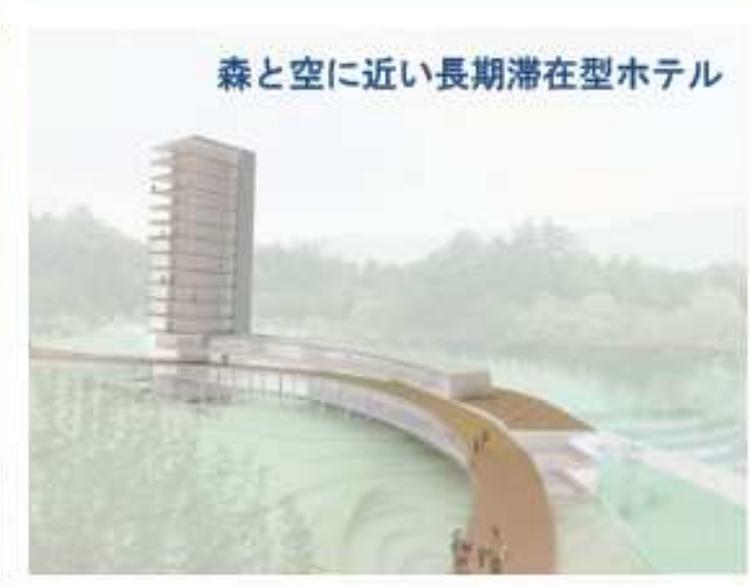
※本内容は計画中のため変更する場合があります。

計画概要

事業区域面積: 254,896m² ホテル階数: 15階(約55m)

開発許可: 2019年6月 開業: 2021年(予定)

足柄SA周辺地区(桑木地区)複合観光施設開発事業

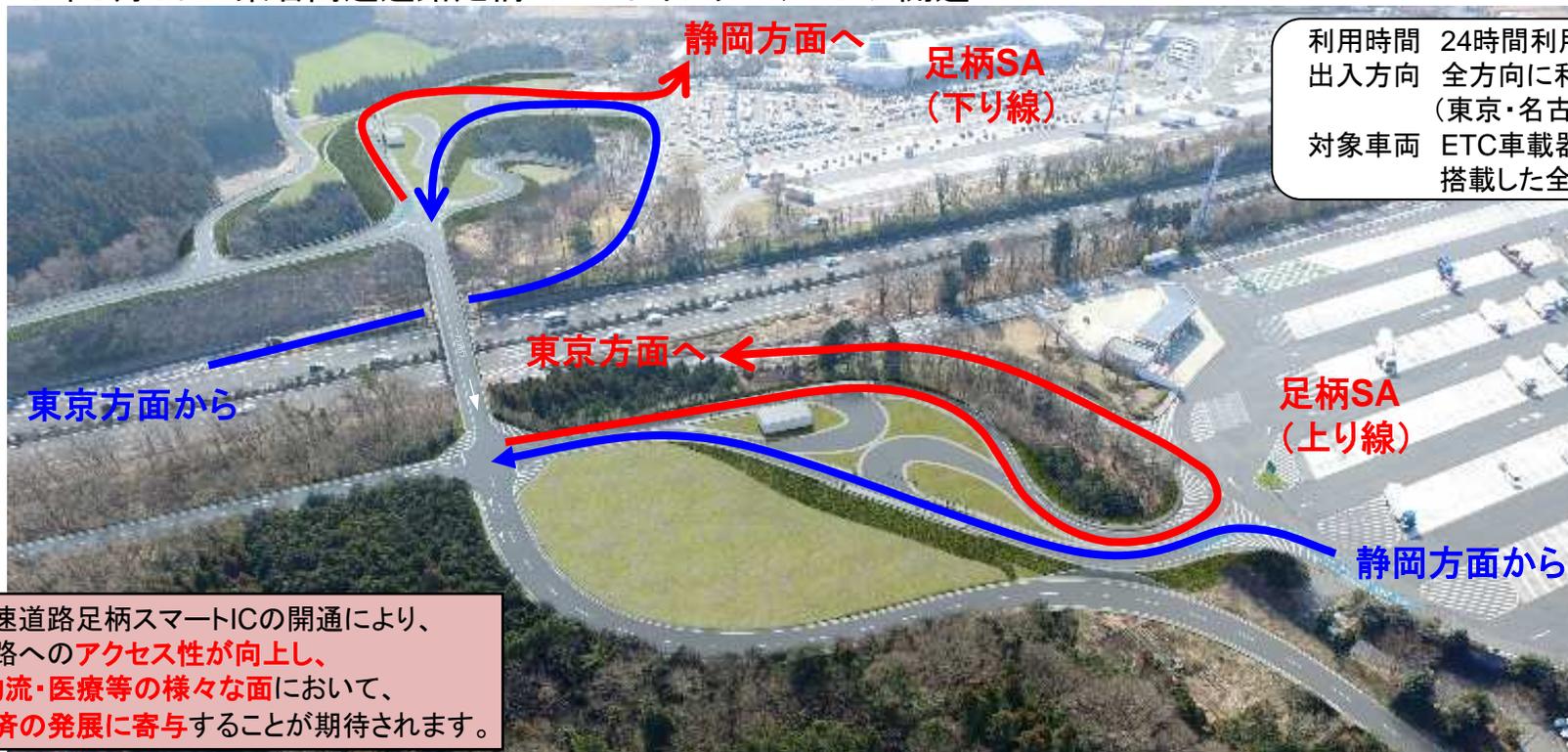


施設のデザインイメージ

東名高速道路足柄SA 足柄スマートインターチェンジ整備事業

2016年6月6日 東名高速道路足柄サービスエリアと小山町道との連結許可を取得

2019年3月9日 東名高速道路足柄スマートインターチェンジ開通



利用時間 24時間利用可能
 出入方向 全方向に利用可能
 (東京・名古屋方面)
 対象車両 ETC車載器を
 搭載した全車種

東名高速道路足柄スマートICの開通により、
 高速道路へのアクセス性が向上し、
 観光・物流・医療等の様々な面において、
 地域経済の発展に寄与することが期待されます。



足柄SA周辺地区(竹之下地区)宿泊施設整備事業



ビジネスホテルとシティホテルのセンターラインに位置する
新感覚ホテル

- ・交流人口の拡大と地元雇用を創出
- ・レストランでは地場産品を提供
- ・バンケットルームを用い地域交流イベントが可能
- ・町と災害時における宿泊施設などの提供に関する協定を締結

名称:『ホテルジャストワン富士小山』

客室:162室 収容人数:290人

事業者:株式会社和栄

事業面積:約12,000㎡ 構造:鉄筋コンクリート7階建て

YouTubeで、ホテル建設地の
眺望を見ることができます。



<p>政策課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●湯船原地区の工業団地整備に伴い、職住が近接した住宅用地の確保が求められている。 ●有事において自助共助の理念が醸成された地域コミュニティの形成が必要である。
<p>解決策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●自然と調和した家・庭一体の住宅団地を整備し、工業団地の職住近接の住宅としての機能を確保する。 ●有事に自立可能なスマートタウンの創出や、区域内に整備する避難地としてのパブリックスペースの確保により、防災対応力の高い住宅団地を形成する。

【事業内容】

- ・ 防災対応力の高い住宅団地整備

【想定している事業実施主体】

- ・ 小山町

【推進体制の設置状況及び活動状況】

- ・ 小山町内陸のフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資
—	—	—	—

【区域の範囲】(対象面積:0.55ha)



【スケジュール】

2014年度	実施設計、造成工事着手
2015年度	分譲開始

南藤曲地区「家・庭一体の住まいづくり」

小山町「定住・移住」情報サイト『ASUO』



住宅団地イメージ



南藤曲地区 住宅団地
A=5,500㎡
16区画、完売

区分	小山町外から 転入する人	小山町内で 転居する人
①土地・住宅の取得	最大50万円 (仲介手数料相当額の1/2)	最大30万円 (仲介手数料相当額の1/3)
②住宅の賃貸	最大5万円 (仲介手数料相当額)	最大3万円 (仲介手数料相当額)
③北駿材を使用した 住宅建築	①+最大50万円	

子育てにやさしい住宅地「クルドサック16」

⇒団地内道路は曲がった袋小路（クルドサック）
 ・通行車両が少なく、スピードが出せない
 ・用事のない人は入ってこない
 静岡県豊かな暮らし空間創生住宅地に認定

《定住促進助成金・補助金》
 町内の土地を購入した人やアパートを
 借りた人等を対象とした助成制度があります

生活と自然が調和した「富士小山わさび平地区」推進区域 (優良田園住宅事業)

フロンティア推進区域
(第2次指定 2014.10.14)

政策課題	<ul style="list-style-type: none"> ●新東名高速道路（仮称）小山PAのスマートインターの設置による利便性の向上や、恵まれた自然環境を活かした、住宅用地の確保が求められている。 ●（仮称）小山PA等と連携した防災拠点の創出に加え、観光客の一時滞在や災害復旧支援者の受入地の確保が必要である。
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ●富士山が望める場所で、自然と調和した家・庭一体の住宅団地を整備し、沿岸部からの移転の受け皿の確保と県内外からの移住・定住の促進を図る。 ●地区内の研修所等施設と協定を締結し、地域住民や観光客の一時避難や災害復旧支援者受入機能を確保し、地域防災力の強化を図る。

【事業内容】

- ・既存施設との協力協定締結と防災機能を確保した住宅団地整備

【想定している事業実施主体】

- ・民間事業者、小山町

【推進体制の設置状況及び活動状況】

- ・小山町内陸のフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資
—	—	—	—

【区域の範囲】（対象面積：約25ha）



【スケジュール】

2014年度	地区計画に関する基本方針策定
2015年度	優良田園住宅の基本方針策定 土地利用計画作成
2016年度	造成工事着手、分譲開始準備

富士小山わさび平地区「優良田園住宅事業」



12月2日現在
全36区画申込済
(うち町外からの申込28区画)

坪単価: 宅地**10万円** 山林**1万円**

わさび平地区区画割り



優良田園住宅とは
農山村地域、都市の近郊等に
良好な自然的環境を形成して
いる地域に所在する一戸建て
敷地面積300㎡以上
建ぺい率30%以下
容積率50%以下
3階建て以下の住宅

富士小山わさび平地区『優良田園住宅事業』

事業区域面積: 約2ha 専用住宅: 36区画(1区画面積: 301~683㎡)
富士山を望む自然が豊かなゆとりある住宅団地を整備
新東名高速道路(仮称)小山PAのスマートICへの利便性も活かし
県内外からの移住定住を促進する。

駿河小山駅周辺地区：富士山の眺望を活かした 駿河小山駅周辺活性化事業推進区域

フロンティア推進区域
(第4次指定 2015.10.13)

政策課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 駿河小山駅周辺の未利用地を活用した中心市街地の活性化 ● 有事の際の駅利用者の安全・安心の確保
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅周辺の未利用地を企業誘致のための工業用地として整備し駅周辺に人の流れを創出するとともに、観光客に対する情報発信機能を強化 ● 有事に備え、立地企業と防災協定を締結するとともに、強化した情報発信機能を活用して防災情報を駅利用者等に提供

【事業内容】

・防災機能を備えた工業用地整備及び観光交流施設の機能強化

【想定している事業実施主体】

・民間事業者、小山町

【推進体制の設置状況及び活動状況】

・小山町内陸のフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

調査助成	用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資	住宅整備助成	農業基盤整備支援
○	○	—	○	—	—

【区域の範囲】(対象面積:約30ha)



【スケジュール】

2015年度	企業誘致、情報発信手法検討
2016年度	造成・建築工事完了、防災協定締結 情報発信手法確立
2017年度	情報発信拠点化準備

駿河小山駅周辺地区 現況写真



駿河小山駅周辺地区 新規企業立地

新規企業立地: 信濃高原食品(株)富士小山工場



JR駿河小山駅近くに完成した
信濃高原食品(株)富士小山工場
◇竣工式(2016年5月11日)



信濃高原食品(株)は、長野県に本社を置く丸善食品工業のグループ会社であり、生産ラインの拡大を計画する丸善食品工業(株)が用地を取得し建設されました。
生産ライン: 1日当たり約4万5千ケースの飲料水
県から指定を受けた「内陸フロンティア推進区域」への立地
2018年3月、第2期工事完了



(駿河小山駅周辺地区航空写真)



富士山の眺望を活かした駿河小山駅周辺活性化事業

須走周辺地区：富士山に抱かれた須走周辺地区観光活性化事業推進区域

フロンティア推進区域
(第5次指定 2016.5.17)

政策課題	<ul style="list-style-type: none"> ●富士山観光の拠点である須走地区において、通過・交流から滞在へ人の流れを創出 ●有事における観光客の安全・安心の確保
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ●「道の駅すばしり」周辺及び国道138号沿道に観光宿泊施設を誘致 ●有事に備え、誘致施設と防災協定を締結し、道の駅と連携した観光客の一時避難地として活用

【事業内容】

・観光宿泊施設の整備

【想定している事業実施主体】

・民間事業者

【推進体制の設置状況及び活動状況】

・小山町内陸のフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資	住宅整備助成	農業基盤整備支援
—	—	○	—	—

【区域の範囲】(対象面積:約150ha)



【スケジュール】

2016年度	関係機関協議、実施設計
2017年度	観光宿泊施設工事着手

須走周辺地区 現況写真

富士山須走口登山道の観光客を対象とした観光宿泊施設整備



推進区域指定面積 A=150ha

**富士山に抱かれた
須走周辺地区観光活性化事業**

〔※〕都市計画法第34条第2号に規定する開発行為のうち、観光資源の有効な利用上必要な建築物の建築又は建設の用に供する目的で行う開発行為の運用基準

(12) 小山町:リバーガーデンタウンおやま宅地造成事業推進区域

フロンティア推進区域
(第6次指定 2016.11.1)

政策課題	<ul style="list-style-type: none"> ●内陸フロンティア推進区域等をはじめとする工業団地整備や観光関連施設等の整備が進む中、新たな雇用者となる若者世帯の受け皿となる住宅地の確保 ●少子高齢化により弱体化した集落機能の維持と地域防災力の強化
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ●水と緑溢れる豊かな自然環境を生かした職住近接のゆとりある住宅団地を整備 ●避難所として利用可能な公園整備とともに、公園を活用した防災イベントや自然環境保全活動等を展開することにより地域住民と新たな居住者との協働活動を活発化し、地域コミュニティを強化

【区域の範囲】(対象面積:約58ha)



- | | |
|---|---|
| ① | 再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業推進区域 |
| ② | (仮称)小山パークینگエリア・スマートインターを活用した地域産業集積事業推進区域 |
| ③ | 富士山に抱かれた須走周辺地区観光活性化事業推進区域 |
| ④ | 東名高速道路足柄サービスエリア周辺を広域都市交流拠点とした土地利用事業推進区域 |

【スケジュール】

2016年度	優良田園住宅の建設の促進に関する基本方針変更
2017年度	実施設計、開発許可申請
2018年度	造成工事着手
2019年度	分譲開始

【事業内容】

・住宅団地の整備

【想定している事業実施主体】

・町、民間事業者

【推進体制の設置状況及び活動状況】

・小山町内陸のフロンティアを拓く取組推進協議会

【活用を予定する県の支援策】

用地取得費助成	工業用地助成	中小企業融資	住宅整備助成	農業基盤整備支援
—	—	—	—	—

小山町のまちづくり推進体制 ～ ふじのくにのフロンティアを拓く取組～

1. チームフロンティアおやま^(2013.5.7設置)

- ・副町長をリーダーに関連する課員で構成する庁内プロジェクトチーム
- ・計画具体化・事業円滑化のため庁内横断的な意見交換
- ・開催実績 2013年:13回、2014年:8回、2015年:8回、2016年:6回、2017年:5回
2018年:4回、2019年:1回

2. 小山町ふじのくにのフロンティアを拓く取組推進協議会^(2013.10.9設立)

- ・副町長を会長に、地元自治会・団体、金融機関、進出企業と、行政(国・県・町)で構成する官民連携の協議会
- ・推進計画の協議、情報共有と情報発信事業を実施
- ・開催実績 2013年:2回、2014年:3回、2015年:3回、2016年:2回、2017年:2回
2018年:2回、2019年:2回



2016年度 推進協議会総会



